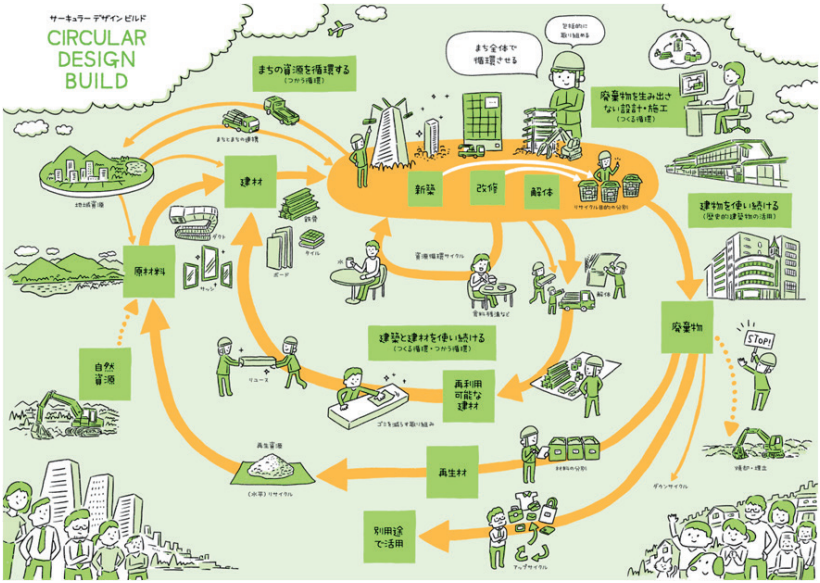
CASE 17

サーキュラーデザインビルド®　株式会社竹中工務店



プロジェクト概要

「つくる」・「つかう」・「つなぐ」をキーワードに、資源循環全体で廃棄物を削減する取組を推進

竹中工務店では、自社の環境戦略の1つ、サーキュラーエコノミーを実現するために「サーキュラーデザインビルド®」というコンセプトを紡ぎ出した。同コンセプトのもと、従来のスクラップ＆ビルドから「つくる」・「つかう」・「つなぐ」をキーワードにリユース・リサイクル・アップサイクルなど、廃棄物を削減する取組の推進を目指している。2023年にスタートした「建築における鉄のリサイクル」はその一例である。

竹中工務店が解体する建築物から排出される鉄スクラップ回収後、電炉鉄鋼メーカーのニーズに見合った製鋼原料に加工し、加工された原料を製鋼会社が環境負荷の低い電炉で溶解し製品化、同製品を竹中工務店が手掛けるプロジェクトにて活用・トレーサビリティを確立する体制を構築。これまで実現が難しかった業界を跨ぐ連携体制の構築が実現した。今後もこうした連携体制の構築を進め、資源循環全体での課題共有や解決方法の議論を深め、取り組みのスパイラルアップや活動の輪の拡大を目指す。

連携機関

「建築における鉄のリサイクル」　(株)竹中工務店（建築物の設計・施工）
巖本金属(株)（排出される鉄スクラップの回収・原料加工）
岸和田製鋼(株)・共英製鋼(株)（溶解・製鋼）
東京製鐵(株)（溶解・製鉄）